

見聞録

北京における第13回世界水素エネルギー 国際会議見聞録

株鈴木商館 ガス事業部ガス機器開発部 鈴木 譲

6月12日から15日まで中国北京市で開催された今回の会議は、参加人数からは過去のWHECの中でも低調の部類に入ろう。特に欧米圏よりの参加者が少なく、この事には少なからず9月にドイツで開催されたHYFORUM2000が影響していたものと思われる。発表のあった内容にも各セッションともあまり新規性のあるものは乏しいようであった。中国側の運営も不慣れな点が否めずオーラルセッションの抜け落ち等も多かった。また、多くの発表機会を提供する意味で、最近の国際会議における良い傾向と思っていたポスターセッションもスペースやショートプレゼンテーションなど充実していなかった。展示に関してもあまり派手さはなく、ニッケル-金属ハイドライドバッテリーを積んだという自動車が展示されていたのが目立った程度である。

会議場のサテライトは北京市中心部からは北へ9kmあまり離れたところに位置する五洲大酒店ホテルを併設する国際会議場、北京国際会議中心であった。会議場、ホテルとも設備は完備していた。

ところで、本会議開催中の6月の北京の暑さには驚かされた。緯度で言えば日本の岩手県くらいになるはずにもかかわらず日中の気温は39℃あまりとなり、日が暮れてもあまり涼しくはならない事から梅雨も空けやらない日本からの参加者の方々には少々気候が厳し

かったようだ。中国側の用意してくれた会議以外のプログラムに夕食会、京劇観劇、テクニカルツアー、各種観光ツアーなどがあったが、特に京劇孫悟空の観劇は中国語が分からずとも思わず引き込まれる迫力があり良い思い出となった。

会議場のサテライトは北京市中心部からは北へ9kmあまり離れたところに位置する五洲大酒店ホテルを併設する国際会議場、北京国際会議中心であった。会議場、ホテルとも設備は完備していた。

ところで、本会議開催中の6月の北京の暑さには驚かされた。緯度で言えば日本の岩手県くらいになるはずにもかかわらず日中の気温は39℃あまりとなり、日が暮れてもあまり涼しくはならない事から梅雨も空けやらない日本からの参加者の方々には少々気候が厳しかったようだ。中国側の用意してくれた会議以外のプログラムに夕食会、京劇観劇、テクニカルツアー、各種観光ツアーなどがあったが、特に京劇孫悟空の観劇は中国語が分からずとも思わず引き込まれる迫力があり良い思い出となった。

このほかにも北京は故宮博物院、天安門広場、万里の長城をはじめ見所の多い場所である。ホテル外での物価は安く食べるものも日本人にはなじみやすいものが多く楽しめる場所であった。



写真1. 中国のニッケル-金属ハイドライドバッテリー自動車をバックに横浜国立大学の神谷先生、谷生先生、山口氏（富士電機）

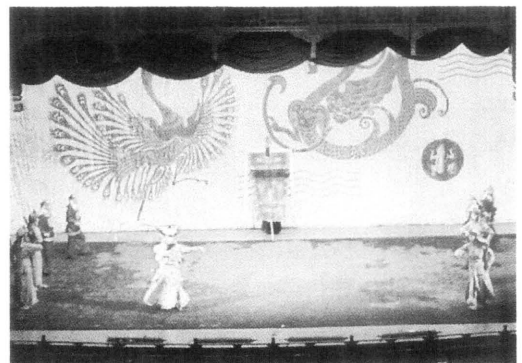


写真2. 京劇孫悟空の一場面